

子供たちの情報化社会への対応 (パソコンや携帯電話の光と影)

今後も更に注意を払いたい

問 情報化社会、ITの進により一億人携帯電話の時代、そして、家庭や職場、学校ではパソコンが身近にありインターネットで様々な情報が得られ通信も可能しかし、便利な反面、危険性も指摘されている。子供たちの利用実態、安全な使用への教育、保護者との連携など今後の取り組みについてお尋ねする。

答 学校現場においては機会を捉えて子供たちに注意や指導をしている。保護者の方に対しても注意を喚起したいと考えている。

子育て支援対策 (平成十九年度の取り組み)

これまでの充実した子育て支援策を損なうことなく検討を続けたい

問 子育て環境を転入の理由とする方も多し、子育て支援の現状と今後の具体的施策について。平成十九年度に就学前児童対策に関する検討組織を立ち上げ幼稚園、保育所等の役割と在り方について検討するようだが、その目的、方針についてお尋ねする。

答 幼児教育や保育に対する多様なニーズが出てきたこと、多様な保育サービスを選択できるようにするという観点からも民間活力の導入を検討する必要性を感じている。本町の幼稚園、保育所等の在り方について検証し、就学前幼児に関するシステムをどのように構築すべきか有識者による検討組織を立ち上げたい。



西岡 恵子 議員

ごみ対策

(ごみ袋有料化に向けての具体的取り組み)

有料化に向け周知に努めたい

問 ごみの減量化、分別を目的としたごみ袋有料化に向けての取り組み、特に住民への具体的対応と生活弱者への配慮についてお尋ねしたい。

また、天ぷら油等、家庭からでる廃食用油は現在、町商工会が回収している。

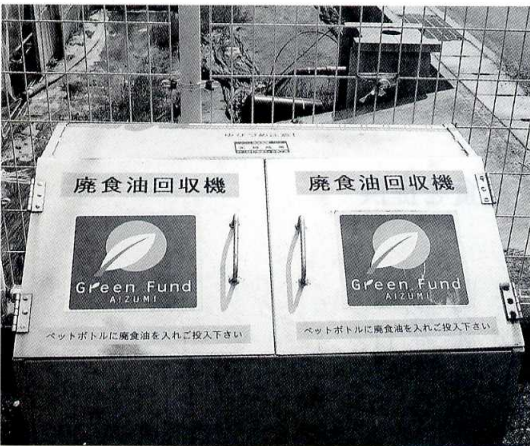
これはごみの減量化、水環境の保全につながる有効な手段と考えるが、住民への周知が不十分である。広報活動や回収場所の増大を求める。

その他の質問

- 「放課後子どもプラン」推進事業について
- 学校給食での地産地消、今後の展望について
- 給食部門民間委託について(藍寿苑)
- 吉野川水系河川整備計画への本町の方針について

答 駐在員会や回覧板、広報紙やA Iテレビにより周知を図り、分別ハンドブックとごみ指定袋の試供品を全戸配布する予定である。経済的弱者については、無

料給付を前提に前向きに検討していきたい。廃食用油回収については、PR等の啓発に努めるとともに、設置場所の増加等、この事業をバックアップしていきたい。



廃食用油回収機